



Tokiyo

時世 [ときよ]

VOL. **29**
2022.AUGUST

時世

「世」という文字は「世」とも書き、「十」を3つ重ねた文字であり、30を表し30年間を意味します。茜会創立30周年にちなみ、「時世」と改称しました。

茜会理念 医療法人茜会は、外来・入院・在宅の三位一体の総合医療を目指し、地域医療に貢献します。



よしみず病院理念
病めるひとのために、より良い医療を追求します。

基本方針

- 在宅療養後方支援病院として、地域に根ざした医療を提供します。
- 難病や障害を持った患者さんに、適切な医療・リハビリテーションを行います。

- 先進的な医療・介護に取り組みます。
- 思いやりや、優しさを持って患者さんに接します。
- 職員は健全な経営を行うため努力し、働きやすい病院を目指します。

よしみず病院 開院

令和3年12月に下関市の昭和病院が新築移転しました。それを機に「脳神経筋センター よしみず病院」と名称も変更し、病院機能も一新することとなりました。従来の病院の398床(内、介護医療院60床)と他病院の53床の2病院を統合し、451床(内、介護医療院60床)の病院として生まれ変わりました。病院、病床機能も集約化し、より効率の良い病院運営できるようになりました。脳神経筋センターとして、CT、MRIは、先進の医療機器を整備し、また新たにRI室(SPECT)を設けて高度な診断が可能な環境をつくりました。医師も山口大学神経・筋難病治療学講座の神田隆教授にセンター長として脳神経内科医が常勤3名配置する体制で、神経難病の早期診断から終末期にかかわる医療の充実を図ることとなりました。病院機能を一新した背景には、旧病院ではリハビリテーションを中心とした地域密着型の病院機能でした。その中でも在宅復帰が困難なある程度進行した終末期に近いパーキンソン病や筋萎縮性側索硬化症(ALS)等の神経難病の患者が多く療養されていました。リハビリや看護を中心としたケアを行っていましたが、終末期となりお看取りする症例がほとんどでした。新病院では早期の診断の段階から関わり、終末期まで切れ目のない医療が提供できる機能を持つことを目標として取り組みます。また、下関だけではなく門司圏域で神経難病の診断・治療の拠点となる病院となるよう取り組みます。病院内の1階には診療部門以外に多目的ホール「ぼるて」があります。ここではレストラン、コンビニがありますが、これをグループ内の社会福祉法人が就労継続支援A型として運営して、障害や難病を抱えた方が、一般企業への就労サポートを行う事業所を設けました。この事業には病院内のスタッフもサポートしますが、地域の皆様方のご理解も必要となります。またこのスペースは3つに区切られ、地域の方々



と多種多様に共有できる場所を考えております。この場所を開放すると研究会などの催しができる講堂としても使用できるような造りにしました。そして2階部分は管理部門以外に広大なリハビリテーションルームとなっています。神経難病患者以外に、回復期、慢性期のリハや小児リハビリテーションが提供できるスペースとなっています。3階から6階までが入院病床となっています。一般病棟・障害者等一般病棟・特殊疾患療養病棟・回復期リハビリテーション病棟・地域包括ケア病棟・医療療養病棟・介護医療院の病床機能を有します。従来の地域密着型の在宅療養後方支援病院としての機能は保ちつつ、地域社会に貢献できるよう職員一丸となって邁進いたしますので宜しくお願い致します。



よしみず病院

かわい もとはる
 脳神経内科 川井 元晴

はじめまして、よろしくお願ひいたします。

2021年12月1日付けで、入職いたしました川井元晴と申します。1990年山口大学を卒業後、山口大学臨床神経学講座並びに神経・筋難病治療学講座に所属し、神経難病や神経免疫性疾患をはじめとした脳神経筋疾患の診療研究教育に従事してきました。脳神経筋疾患の新しい診療拠点である脳神経筋センターよしみず病院で、急性期から慢性期、看取りに至るまでの診療を諸先生やコメディカルの皆さん、さらには地

域の皆さんと一緒に進めていきたいと考えています。脳神経筋疾患には治療法がないというイメージが強いと思いますが、難病といわれた疾患にも治療法や対処法が見いだされているのは近年の大きな変化です。私自身は昭和病院時代から非常勤医師としてお世話になっていましたが、新しい体制で頑張っていきたいと思ひますのでどうかよろしくお願ひいたします。


たかはし しおり
 脳神経内科 高橋 志織

本年4月から脳神経筋センターよしみず病院に勤務させて頂くことになりました脳神経内科の高橋志織と申します。

平成18年に山口大学医学部を卒業し、山口大学病院、済生会下関総合病院で研修医時代を過ごし、患者さんの訴えを的確に把握し、神経学的所見をとり診断をつけ、長く寄り添って治療を行う点に魅力を感じ、山口大学病院 脳神経内科に入局しました。関連病院での勤務や、多発性硬化症とVitamin Dの関連について血液脳関門の基礎研究を行い、直近の1年間は脳神経内科 助教として医学部学生の病棟実習の指導や、後期研修医の指導・病棟業務などに携わっていました。山口大学病院では急性期治療や神経難病の診断をつけて、方向性を決定する段階まで関わることが可能ですが、患者さんのその後の長い闘病生活での継続的な支援やリハビリを担当することが難しく、課題に感じていました。

4月に赴任させていただいてから、よしみず病院の医療ス

タッフの方々、リハビリテーション部、薬剤部、連携室の皆様がとても協力的で、また脳梗塞や脳出血などの急性期脳血管障害から、パーキンソン病やALSなどの神経難病の患者さんに対して幅広く、一人ひとりに適切なリハビリテーションや在宅でのフォローを提案されており、本当に素晴らしいなと感じました。症状が進行してくる神経難病の患者さんご家族にとっては、皆様がとても心強い存在だと思います。今後は、神経免疫疾患なども含め、山口県や近隣県から多くの患者さんを受け入れていくことが増えると思いますが、患者さんご家族が安心して治療やリハビリテーションを受け、神経難病の患者さんを最後までサポートできるように、皆さんと一緒に作り上げていきたいと思ひますので、どうぞご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。


よしかわ まいこ
 膠原病・リウマチ内科 好川 真以子

この度、4月1日よりよしみず病院に着任いたしました、好川真以子です。

2007年3月に産業医科大学を卒業し、産業医科大学第一内科に入局いたしました。大学病院での初期臨床研修中には、地域医療研修のため昭和病院で2ヶ月間お世話になりました。臨床研修後は、専門修練医として大学病院や関連病院で膠原病・リウマチ内科の臨床診療に従事し、忙しくも充実した毎日を過ごしました。その後、大学院生としての研究生生活、企業での産業医を経て、現在に至ります。

初期臨床研修中にお世話になった時から14年ぶりに茜会でお世話になることとなり、気持ちを新たに精進して参ります所存です。

フットワークを軽く、誠意をもって、丁寧に診療に携わり、内科医としてよりよい医療が患者様に提供できるよう努めていきたく存じます。

微力ながら、貢献できればと思ひますので、よろしくお願ひいたします。



循環器内科 うちだ こうすけ
内田 耕資



循環器内科の内田と申します。出身は北九州市です。山口大学医学部を卒業した後、同大学第二内科に入局して、循環器内科医として歩んでまいりました。東は周南市、北は萩市での勤務を経て、一昨年より済生会下関総合病院で働いておりましたが、縁あって本年4月よりよしみず病院で勤務させていただいております。主に循環器疾患の患者さんへの薬物治療やリハビリテーションなど取り組んでいければと思っております。当院にマッチした診療の進め方を身に付けていく中で、ご迷惑をおかけすることもあるかと思っておりますが、ご指導のほど宜しくお願いいたします。優しくお願いいたします。



耳鼻咽喉科 こが くにひこ
古賀 郁彦



昭和病院から脳神経筋センターよしみず病院へビッグなリニューアルをされ、昨年12月オープン心からお祝い申し上げます。よしみず病院は下関市の中心に位置し、アクセスの点で申し分ない場所で、市民特に高齢者は大変助かることと思います。

実は、吉水卓見会長からお声がかかり本年一月よりこの立派な病院に非常勤でお世話になることになりました。専門は耳鼻咽喉科で主に対象は入院患者さんです。高齢者が多いだけに難聴・嚥下障害・めまい等が多く、診断治療に苦慮することもあります。幸い山口大学耳鼻科教室から週1回ドクターが応援に来られますので、御意見を聞きながら解決しております。

ハードの面ではすべて最新式で利便性良く設計され、また天井は高く廊下は広くトイレはきれいで清潔で最高に快適で、私のほうが元気をもらっている次第です。耳鼻科領域においても日進月歩で日々勉強しながら微力ではありますが責務を果たしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

整形外科 やまぐち よしひで
山口 芳英



昭和44年山口大学医学部を卒業し、小倉記念病院・山口大学附属病院・済生会下関総合病院に勤務後、昭和60年12月～令和3年4月まで彦島で山口整形外科を開業していました。後輩に譲り昨年12月まで山口整形外科に勤務し、それ以後は医療から離れ自由奔放な生活をしていましたが、縁あって5月10日よりよしみず病院にお世話になり、火・水曜日9:00～17:00の間、整形外科外来を担当しています。80近い高齢になってから大きな組織の中で働くことには不安もありましたが、当病院は高齢者が多いので加齢的フレイルによる転倒→歩行障害→寝たきりにつながる整形外科特有の腰痛や関節疾患・骨粗鬆症などの患者さんを通じて地域医療に貢献できればと思っております。幸い、外来看護師や医療事務員の親切なご指導・ご協力により苦手不得意な電子カルテにも少しずつ慣れ、PT・OT、レントゲン技師、薬剤師の皆さんのご協力のお陰で当初の不安も解消されつつありますが、患者さんが少ないのでご紹介のほどよろしくお願いいたします。

門司病院

内科 ひろしげ まさし
廣重 将

2022年4月から北九州市立門司病院に入職いたしました、内科の廣重 将と申します。出身は福岡県久留米市ですが、祖母が行橋に住んでおり伯父が門司で働いていたため、北九州とは昔からご縁を感じます。現在は下関から関門トンネルを通過して通勤しています。これまでは外科や内科、精神科について学びつつ、訪問診療や常勤産業医を経験して参りました。

入職して2ヶ月になり、ここでの業務にもだいぶ慣れてきました。まだまだ駆け出しの身であり至らない点もございますが、スタッフの皆さんに支えて頂きながら楽しく充実した日々を送っております。これからも患者さんやご家族、スタッフの皆さんとの繋がりを大事にし、心のこもった医療を提供できるよう精一杯努めたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



Column



脳神経内科をよろしくお願ひします！

脳神経内科とは、どんな症状や病気をみるところなのか、ピンと来ない方もおられると思いますが、年を取ると気になる症状だけでなく、誰もが一度は経験したことがあるような症状が含まれます。



よしみず病院には、脳や末梢神経、筋肉の状態を詳しく検査できる機器と、それを十分使いこなせる専門医が常勤で3名、非常勤で3名、合計6名もいます。気になる症状があれば是非受診をお勧めします。

川井 元晴

脳神経内科の病気かもしれない症状

- 頭痛がする 片頭痛といわれた
- もの忘れがひどくなった
- 手足が動かしにくい 筋力が弱くなった
- 手足の感覚が分かりにくい
- 手や足がふるえる
- 歩きにくい ふらつく よく転倒する
- 呂律がまわらない 喋りにくい
- 急に視力が落ちた
- 意識を失った 手足がけいれんした

ジャーナル掲載！

よしみず病院リハビリテーション部理学療法士の宇野健太郎の論文がジャーナルに掲載されました。



雑誌名：理学療法福岡 第35号2022

表題：「リハビリテーション従事者における離職意思の規定要因に関する調査」

筆頭著者：宇野健太郎 共著者：田中恩

概要

【目的】リハビリテーション（以下、リハ）従事者における離職に対して修正可能な規定要因があるかを検証することである。

【方法】当会リハ部スタッフ171名を対象とし、質問紙法による無記名式アンケートを実施した。調査項目は13項目からなり、各項目に対して5段階のいずれかを回答させた。離職意思を問う項目は3段階とした。統計解析は、離職意思の有無の2群に分け、その他の調査項目の比較をした。多重ロジスティック回帰分析を使用して、規定要因があるかを検討した。



【結果】回帰分析の結果、「個人への称賛」、「適性に合った仕事」、「仕事を通じての成長」が抽出された。

【結論】離職意思に対して、給料、性別、年齢など以外の修正可能な規定要因がある事が示唆された。



こども食堂『あそびばパルテ』OPEN!

よしみず病院には「多目的ホールぱるて」という地域交流スペースがあります。普段はレストランとして一般の方にもご利用頂いている場所ですが、2022年4月より毎月1回土曜日のお昼に『あそびばパルテ～ぼくたちのアジト～』というこども食堂を開催しています。

よしみず病院の有志スタッフが運営し、フードバンク等を利用して、地域の子どもたちのために30食分の昼食を無

償でご用意しています。コロナ禍にあってなかなか思うような活動ができない中でも、地域の子どもたちがこども食堂を訪れてくれました。みんなでスタッフ手作りのお弁当を囲み、和気藹々と楽しい時間を過ごしてもらってきました。

よしみず病院では今後もこの活動を続け、孤食やフードロス、学習支援などの社会課題に取り組んでいく予定です。お近くの方は、ぜひ立ち寄られてみて下さい。



【子ども食堂とは】

子どもがひとりでも行ける食堂で、無料または低価格であたたかな食事や居場所を提供するコミュニティの場。経済的理由や家庭の事情により共食が難しい子どもに共食の場を確保し、地域コミュニティの中で子どもが安心して過ごせる場所を提供することを目的としている活動。



【フードバンクとは】

安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で流通に出すことのできない食品を企業等からの寄贈を受け、必要としている団体や困窮世帯などに無償で提供する活動のこと。



茜会会長の吉水卓見が本を出版!

茜会の創業者で茜会会長の吉水卓見が本を出版しました。タイトルは『認知症の時代 支え合える社会を目指して』。30年にわたり認知症を診療してきた経験と幅広い学識をもとに書き上げた一冊です。この本は人類学の観点から認知症の成り立ちを考察し、認知症との共存を提言しています。「高齢者の5人に1人が認知症になる」ともいわれるこの時代。超高齢社会となった日本が抱える大きな社会問題に医師として真正面から取り組んだ意欲作です。

本書の中にはよしみず病院の顧問である坂本久浩先生と著者の対談もおさめられています。医療関係者はもちろん一般の方々にもぜひ手にとって読んでもらえればと思います。よしみず病院売店、くまざわ書店下関店、明屋書店MEGA新下関店、インターネットショップAmazonでご購入頂けます。また全国の書店でお取り寄せが可能です。



『認知症の時代 支え合える社会を目指して』

著者：吉水卓見 価格：1,650円（税込）

出版社：PHPエディターズ・グループ



わかば保育園について

わかば保育園は、よしみず病院の移転に伴い令和4年1月に向洋町に新築移転しました。これを機に企業主導型保育園となり、定員が40名に増員され、現在12名の保育士が保育を行っています。現在、茜会事業所にお勤めの方のお子さんが入園・利用の対象ですが、今後、受け入れの体制が整い次第、地域枠として、定員のうち数名は茜会事業所以外のお子さんも利用できるようにする予定です。

一番の特徴としては、少人数のお子さんをアットホームな雰囲気の中で大切に預かり、のびのびと安定して過ごせる環境づくりをしています。また、年齢に応じてクラスに分け、一人ひとりの発達に応じた援助を行っており、トイレトレーニングをはじめ生活習慣の獲得に力を入れています。

他に、夜間保育・日曜保育のシステムを整えており、親御さんの勤務形態やニーズに合わせて、安心してお子さんを預け、働くことができるサービスを提供しています。

年間行事として、こどもの日の行事、七夕会、運動会、遠足、クリスマス会、節分会、ひなまつり会、卒園式等を行っています。この他に、個人懇談にて子育ての悩み相談等もしていただけます。

日常の保育では、天気の良い日は園庭で砂遊びやかけっ

こをしたり、滑り台やシーソーで遊んだり、公園に散歩に行くなど、戸外にてしっかり体を動かし、夏には水遊びなども行っています。室内でも、広いプレイルームでは、のびのびとボール遊びやリズム体操、トンネル、マットや大型積み木など体を使って遊べる遊具などで楽しく遊ぶことができます。

年齢に応じた製作やワークにチャレンジしたり、ブロック、パズル、ミニカー、おままごとセットの玩具などでお友だちと一緒に遊んだり、飽きることなく日々を過ごし、喜んで保育園に通ってもらえるよう工夫しております。

対象になるお子さんがいらっしゃる方は是非一度保育園の方にご相談ください。

わかば保育園 住所：下関市向洋町1-2-20
☎083-231-3841 担当：山内

〈対象〉

対 象 児：生後57日から就学前の茜会職員のお子さま
保 育 時 間：7：00～19：00（週2回程度、夜間保育対応あり）
日 曜 保 育：8：00～18：00
休 園 日：祝祭日、第1・3・5日曜日、夏季休暇（8/14～8/16）、冬季休暇（12/30～1/3）
月 額 保 育 料：23,000円（2人目から半額）
1日保育料：1,500円
夜間保育料1：1,000円 2人目から無料（在園児及び在籍歴1年以上の卒園児）
夜間保育料2：1,000円 2人目から1人1,000円（園児以外一般利用児）
給 食 費：月額4,500円 1回：200円

※夜間保育及び日曜保育は要予約・延長保育は要相談とさせていただきます。
※今後、地域枠で茜会事業所以外の方が利用する場合、料金や利用時間が異なる場合があります。



Access



電車・バスをご利用の場合

- JR下関駅からサンデン交通バス
③・④（トンネル経由除く）番乗り場より乗車
「山の口」バス停下車 徒歩5分
- JR幡生駅からサンデン交通バス
③番乗り場より乗車
「山の口」バス停下車 徒歩5分

車をご利用の場合

- JR下関駅から約10分
- 下関ICから約10分

〒751-0826 山口県下関市後田町1丁目1番1号
TEL：083-231-3888 FAX：083-231-7957
E-mail：hosp@akn-yoshimizu.com

よしみず病院 ☎ 083-231-3888

平日 午前9：00～午後5：00 土曜日 午前9：00～午後0：00

よしみず病院
<http://www.akn-yoshimizu.com/>

門司病院
<http://www.akanekai-moji.com>

よしみず病院附属看護学院
<https://yoshimizu-kango.com>